

道徳通信

愛西市立八開中学校
第1学年
令和3年4月30日
No. 2

「人と関わる時に大切な礼儀とは」 ～道徳「学習机」を通して考えました～

学習機の販売担当になった「私」はミスで違う型の学習机をお客さんに配達してしまった。

「あんたは、なんてことをしてくれたんだ！」怒鳴る父親に私は「え！」と驚いてしまった。

「交換する以外にどうしろって言うのでしょうかねえ。」私はベテランの大枝さんに相談した。同情してくれるものと思った。

「悲しい思いをさせてしまったあなたが、あのお客様にすべきことは何かしら？」

私は初めて、大枝さんの笑顔をなくした真剣な瞳を見た。

●● ●●くん	●● ●●くん
最初の礼儀とはまったく違う意見がでてきて、考えを深めることができた。	これからは、相手がどう思うか考えて行動したいです。
●● ●●さん	●● ●●くん
改めて礼儀というのはきちんとしていけないなど思いました。失礼をしない態度が大事だなと思いました。	礼儀とは、自分のことだけでなく、人のことも考えて正しい行動をすること。学んだ前と後では、見方が変わった。
●● ●●さん	●● ●●さん
礼儀を意識することはとても大切で、相手の気持ちに応え、相手の心を大切にしたいと思いました。当たり前前に礼儀を意識して行動できるようになりました。	礼儀は文化だと思う。礼儀を重んじる日本に生まれてきてよかったと感じた。自分も日本人であることに恥じないように、礼儀正しく、人に誇れるように生きていきたいと思う。
●● ●●さん	●● ●●さん
礼儀を意識した行動が普段の生活の中で、できていると思いました。ミスをしたらすぐに謝って、(相手の)気持ちを考えて行動をしていきたいと思えます。敬語を使うことがとても大切だと思います。	礼儀のことを最初は、敬語やマナーと思ったけど、みんなの意見を聞いて、相手の気持ちを考えることや相手に対して失礼のないようにすることだと意見が変わった。礼儀についてもっと知ることができた。
●● ●●さん	●● ●●さん
礼儀とは、敬語を使うことだと思っていたけれど、この学習を通して、礼儀には相手のことを考えるなど、いろいろなことがあると分かった。	これからは、相手の気持ちなどを考えて行動や発言をしていこうと思った。礼儀とは、相手の気分や気持ちをこわさないようにすることだと思った。
●● ●●さん	●● ●●さん
ただ敬語やあいさつをすることだけでなく、周りのことも見て行動したり、相手の気持ちを考えたりできる人が礼儀のある人だと思った。とても大切なことだと思った。	「礼儀正しく」とよく言うけれど、今回を通して、礼儀とは何なのかよく分かった。礼儀を無くすということは、気持ちを考えられない、つまり、自分の心が無くなることだと思った。礼儀ありの人間でいたいと思った。
●● ●●さん	
礼儀というものは、あいさつをしたり、敬語を使ったり、人と関わる時にしなければいけないことだと思っていました。けれど、当たり前のように、相手のことを考えてやるということだと分かりました。	